

タイトル「**2023年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**実務経験のある教員による科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT2381S		
科目名	行政学		
担当教員	瀧川 修吾		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	月 1		
講義室	1307	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門基幹		
科目小分類	専門基礎		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E [学識・専門技能] 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP4-I [理解力・分析力] 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 E1 学識と専門技能（60%） I1 理解・分析と読解（30%） I3 情報分析（10%）		
教員の实務経験	独立行政法人大学入試センター教科科目第一委員会委員として2015年4月より2018年3月まで勤務し、社会科学に関する基礎的かつ広範な知識の在り方について検討しました。 第1回目		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージと対応 2 進期～ 3 発展期		
科目概要・キーワード	危機管理に関わる様々な問題について考える際に、行政の構造と組織、そして、そのメカニズム、人的資源の管理、政策過程など、制度と実態を理解することは主権者たる国民として重要な意味をもっています。そのため、本講義では、行政に関する法や制度的な側面だけでなく、その実態を歴史的な文脈から考察することで、日本の行政について学びます。行政を動かす諸制度、特に官僚制という中心となる仕組みの有用性と問題点、そしてその機能を最大化するための取り組みについて学びます。 授業は教科書を用いた講述式で行います。なお、授業の一部を補完するため、あるいは代替するためにディスタンスラーニングを取り入れる場合があります。 （キーワード）太政官制・内閣制・官僚制・公務員・地方自治・民営化・情報公開・入管行政		
授業の趣旨	■副題 日本の行政の過去と現在 ■授業の目的 日本における行政の仕組みと特徴を歴史的な文脈から理解することで、現在の行政が直面する様々な課題について主体的に考察し、その打開策を分析評価できるようになる。 ■授業のポイント グローバリゼーションを世界の潮流とみるならば、地球一周の最後の結節点ともいべき日本は欧米諸国と比べ明らかに後進国でした。明治維新期も、そして第二次大戦後の日本にあっても、行政は欧米との径庭を埋めるために少ないリソースを最大限に活用すべく活動を続けてきました。その結果、行政の肥大化や縦割り行政などの問題が生じてきました。これら現代日		

	本の行政を歴史的な文脈で理解し、行政が抱える幾つかの課題につき主体的かつ積極的に考察できるようになることを目標とします。								
総合到達目標	■行政に関する基礎的な知識を修得し、行政について積極的・主体的に思考する能力を身につける。(第1回～第15回) ■現代日本における行政の特質を歴史的な文脈で理解し、適切なキーワードを把握して自分の言葉で説明できるようになる。(第1回～第11回) ■現今の社会において行政が抱えている様々な課題について把握し、現在試みられている様々な施策につき、適切なキーワードを把握して自分の言葉で説明できるようになる。 ・行政情報の公開や地方自治、民営化・官民連携などについて理解し説明できる。(第1回、第9回～第12回) ・今後の日本経済の荒廃を左右する入管行政について詳細に理解し説明できる。(第1回、第13回～第15回) ■行政にまつわる様々な統計資料を用い、行政の実態を数的に把握し、分析する能力を身につける。(第1回～第15回)								
成績評価方法	■発言点・リアクションペーパー 毎回(20%)：適用ルーブリック E1, I1, I3 (評価の観点) 積極的かつ主体的に講義に参加し、講義内容を理解することができているかどうかを評価します。 (フィードバックの方法) 寄せられた意見や疑問点などについて、その場で、あるいは次回、解説をします。 ■小テスト 原則、毎回(40%)：適用ルーブリック E1, I1, I3 (評価の観点) 講義内容および出題意図について理解し、自分の言葉で説明することができているかどうかを評価します。 (フィードバックの方法)：テスト終了後ないし次回、解説を行います。 ■ノート点 最終回に行う(20%)：適用ルーブリック E1, I1, I3 (評価の観点) 講義内容を理解し、適切に記録することができているかどうかを評価します。 (フィードバックの方法) 極力、その場で点数を付け、改善点について口頭で指導します。 ■レポート点 各自で議題を設定し、できたところで提出(20%)：適用ルーブリック E1, I1, I3 (評価の観点) 講義内容を理解し、知識が定着しているか、それを自分の言葉で説明することができているか、レポートの形式要件を満たしているかどうかを評価します。 (フィードバックの方法) 時間的猶予があれば、添削をして返却します。								
履修条件	特にありません。								
履修上の注意点	政治学1と政治学2も履修することが望ましいです。								
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ ガイダンス ～行政とは何か ②授業概要 授業全般のテーマや内容、使用教材、スケジュール、成績評価の方法などについて説明を行います。社会科学に関する基礎的かつ広範な知識の在り方について検討した実務経験に基づき、皆さんのキャリア形成に役立つ実践的な話をします。(E1・I1・I3) ③予習(120分) シラバスと教科書の目次に目を通し、これから学ぶ内容を整理しておく。 ④復習(120分) 授業を振り返り、授業の目的と到達目標を確認する。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①授業テーマ 行政はなぜ必要とされたか～近代国家と行政 ②授業概要 「行政はなぜ必要か」という視点から行政の基本的な特質を学び、近代日本へのターニングポイントとなった明治維新と徳川幕藩体制の前近代的な意義について学び、行政に関する基礎知識を確認することを目的とします。(E1・I1・I3) ③予習(120分) 教科書の当該箇所を参照し、概要を把握した上で講義に臨むようにする。 ④復習(120分) 授業を振り返り、学習内容を整理しておく。 </td></tr> <tr> <td>3</td><td> ①授業テーマ 中央政府と官僚制の役割と存在意義～幕府の廃止と朝廷の復興 ②授業概要 中央政府と官僚制はなぜ必要なのか。その仕組みを理解しつつ、地方分権であった近世日本がいかにして中央集権的な行政機構を誕生せしめたかについて学び、引き続き行政に関する基礎知識を確認することを目的とします。(E1・I1・I3) ③予習(120分) </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ ガイダンス ～行政とは何か ②授業概要 授業全般のテーマや内容、使用教材、スケジュール、成績評価の方法などについて説明を行います。社会科学に関する基礎的かつ広範な知識の在り方について検討した実務経験に基づき、皆さんのキャリア形成に役立つ実践的な話をします。(E1・I1・I3) ③予習(120分) シラバスと教科書の目次に目を通し、これから学ぶ内容を整理しておく。 ④復習(120分) 授業を振り返り、授業の目的と到達目標を確認する。	2	①授業テーマ 行政はなぜ必要とされたか～近代国家と行政 ②授業概要 「行政はなぜ必要か」という視点から行政の基本的な特質を学び、近代日本へのターニングポイントとなった明治維新と徳川幕藩体制の前近代的な意義について学び、行政に関する基礎知識を確認することを目的とします。(E1・I1・I3) ③予習(120分) 教科書の当該箇所を参照し、概要を把握した上で講義に臨むようにする。 ④復習(120分) 授業を振り返り、学習内容を整理しておく。	3	①授業テーマ 中央政府と官僚制の役割と存在意義～幕府の廃止と朝廷の復興 ②授業概要 中央政府と官僚制はなぜ必要なのか。その仕組みを理解しつつ、地方分権であった近世日本がいかにして中央集権的な行政機構を誕生せしめたかについて学び、引き続き行政に関する基礎知識を確認することを目的とします。(E1・I1・I3) ③予習(120分)
回	内容								
1	①授業テーマ ガイダンス ～行政とは何か ②授業概要 授業全般のテーマや内容、使用教材、スケジュール、成績評価の方法などについて説明を行います。社会科学に関する基礎的かつ広範な知識の在り方について検討した実務経験に基づき、皆さんのキャリア形成に役立つ実践的な話をします。(E1・I1・I3) ③予習(120分) シラバスと教科書の目次に目を通し、これから学ぶ内容を整理しておく。 ④復習(120分) 授業を振り返り、授業の目的と到達目標を確認する。								
2	①授業テーマ 行政はなぜ必要とされたか～近代国家と行政 ②授業概要 「行政はなぜ必要か」という視点から行政の基本的な特質を学び、近代日本へのターニングポイントとなった明治維新と徳川幕藩体制の前近代的な意義について学び、行政に関する基礎知識を確認することを目的とします。(E1・I1・I3) ③予習(120分) 教科書の当該箇所を参照し、概要を把握した上で講義に臨むようにする。 ④復習(120分) 授業を振り返り、学習内容を整理しておく。								
3	①授業テーマ 中央政府と官僚制の役割と存在意義～幕府の廃止と朝廷の復興 ②授業概要 中央政府と官僚制はなぜ必要なのか。その仕組みを理解しつつ、地方分権であった近世日本がいかにして中央集権的な行政機構を誕生せしめたかについて学び、引き続き行政に関する基礎知識を確認することを目的とします。(E1・I1・I3) ③予習(120分)								

	教科書の当該箇所を参照し、概要を把握した上で講義に臨むようにする。 ④復習（120分） 授業を振り返り、学習内容を整理しておく。
4	①授業テーマ 行政の歴史①～太政官制の誕生と封建制の廃止 ②授業概要 日本における最初の中央集権的な行政機構である太政官制と、これが誕生するまでの政治過程について学び、現行制度との比較を通して行政への理解を深めることを目的とします。（E1・I1・I3） ③予習（120分） 教科書の当該箇所を参照し、概要を把握した上で講義に臨むようにする。 ④復習（120分） 授業を振り返り、学習内容を整理しておく。
5	①授業テーマ 行政の歴史②～行政主導による構造改革 ②授業概要 太政官制の下でいかにして中央集権政策が進められ、またそこでいかなる問題が発生したかについて学び、引き続き現行制度との比較を通して行政への理解を深めることを目的とします。（E1・I1・I3） ③予習（120分） 教科書の当該箇所を参照し、概要を把握した上で講義に臨むようにする。 ④復習（120分） 授業を振り返り、学習内容を整理しておく。
6	①授業テーマ 行政の歴史③～中央集権化の達成と廃藩置県 ②授業概要 日本でおおよそ700年にわたって続いた封建体制がいかに廃止され、中央政府と地方政府がいかに再編されたかについて学び、引き続き現行制度との比較を通して行政への理解を深めることを目的とします。（E1・I1・I3） ③予習（120分） 教科書の当該箇所を参照し、概要を把握した上で講義に臨むようにする。 ④復習（120分） 授業を振り返り、学習内容を整理しておく。
7	①授業テーマ 行政の歴史④～大変革の反動と内閣制度の誕生 ②授業概要 封建制の廃止から内閣制度の樹立までに発生した、二つの政変の意義とその帰結について学び、引き続き現行制度との比較を通して行政への理解を深めることを目的とします。（E1・I1・I3） ③予習（120分） 教科書の当該箇所を参照し、概要を把握した上で講義に臨むようにする。 ④復習（120分） 授業を振り返り、学習内容を整理しておく。
8	①授業テーマ 行政の歴史⑤～大日本帝国憲法下の内閣制度 ②授業概要 大日本帝国憲法下の内閣制度の特徴と、そこで行われた政策について学び、引き続き現行制度との比較を通して行政への理解を深めることを目的とします。（E1・I1・I3） ③予習（120分） 教科書の当該箇所を参照し、概要を把握した上で講義に臨むようにする。 ④復習（120分） 授業を振り返り、学習内容を整理しておく。
9	①授業テーマ 日本国憲法下の内閣制度① ②授業概要 第二次世界大戦後、占領統治下の日本の行政および現行の内閣制度について学び、これまで歴史的な文脈で学んできた知識を整理し、理解を深めることを目的とします。（E1・I1・I3） ③予習（120分） 教科書の当該箇所を参照し、概要を把握した上で講義に臨むようにする。 ④復習（120分） 授業を振り返り、学習内容を整理しておく。

10	①授業テーマ 日本国憲法下の内閣制度② ②授業概要 日本国憲法下の内閣制度と、戦後復興・急成長を成し遂げた行政の仕組み、その結果生まれてきた様々な課題について学び、理解を深めることを目的とします。(E1・I1・I3) ③予習(120分) 教科書の当該箇所を参照し、概要を把握した上で講義に臨むようにする。 ④復習(120分) 授業を振り返り、学習内容を整理しておく。
11	①授業テーマ 日本国憲法下の内閣制度③ ②授業概要 引き続き日本国憲法下の内閣制度と、戦後復興・急成長を成し遂げた行政の仕組み、その結果生まれてきた様々な課題について学び、理解を深めることを目的とします。(E1・I1・I3) ③予習(120分) 教科書の当該箇所を参照し、概要を把握した上で講義に臨むようにする。 ④復習(120分) 授業を振り返り、学習内容を整理しておく。
12	①授業テーマ 現代日本における行政の動向と課題(総論) ②授業概要 現代日本における行政の動向と課題として、行政情報の公開や地方自治、民営化・官民連携などについて学び、理解を深めることを目的とします。(E1・I1・I3) ③予習(120分) 教科書の当該箇所を参照し、概要を把握した上で講義に臨むようにする。 ④復習(120分) 授業を振り返り、学習内容を整理しておく。
13	①授業テーマ 現代日本における行政の動向と課題(各論①：入管行政の歴史) ②授業概要 現代日本における行政の動向と課題として、より専門的に入管行政の歴史を素材に省庁間の利害調整や駆け引きについて学び、現代行政のダイナミズムにつき理解を深めることを目的とします。(E1・I1・I3) ③予習(120分) 教科書の当該箇所を参照し、概要を把握した上で講義に臨むようにする。 ④復習(120分) 授業を振り返り、学習内容を整理しておく。
14	①授業テーマ 現代日本における行政の動向と課題(各論②：入管行政の現在) ②授業概要 現代日本における行政の動向と課題として、より専門的に入管行政の現況について学び、向後の日本経済の荒廃と社会の安心安全を左右する入管政策の展望について理解を深めることを目的とします。(E1・I1・I3) ③予習(120分) 教科書の当該箇所を参照し、概要を把握した上で講義に臨むようにする。 ④復習(120分) 授業を振り返り、学習内容を整理しておく。
15	①授業テーマ 総括～行政の未来 ②授業概要 「過去は現在の光に照らして初めて我々に理解できるものだし、過去の光に照らして初めて我々は現在をよく理解することができる」というのは、E.H.Carrの言葉です。「過去の経験からなされる一般化」は、我々と行政の未来を明るく照らすのか。皆さんと一緒に考えてみたいと思います。(E1・I1・I3) ③予習(120分) 14回の講義を振り返り、資料やノートを整理しつつ、不明な点や新たな疑問点等をまとめたメモを持参する。 ④復習(120分)：授業全体を振り返り、ここで学んだ内容を卒業論文や志望する進路等において活用できるように整理しておく。

関連科目	「政治学1（RMGT1139）」・「政治学2（RMGT1140）」と関連します。
教科書	渡邊容一郎『政治学 第3版』（弘文堂，2023年）を使用します。
参考書・参考URL	高宅茂・瀧川修吾『外国人の受入れと日本社会』（日本加除出版株式会社，2018年），森長秀『法学入門 第2版』（光生館，2022年）など
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 瀧川（takigawa.shugo@nihon-u.ac.jp）を窓口とします。 ■オフィスアワー 開講時に周知します。
研究比率	■危機管理領域との対応 災害マネジメント10%、パブリックセキュリティ40%、グローバルセキュリティ40%、情報セキュリティ10% ■危機管理学と法学とのバランス 危機管理学60%、法学40%

